

喀痰吸引等研修

(不特定多数の者を対象とする研修[第1号研修及び第2号研修])

一般社団法人財形福祉協会

実地研修評価票：喀痰吸引 気管カニューレ内部吸引（通常手順）

達成度	ア	1人で実施し、手順どおりに実施できている
	イ	1人で実施しているが、手順を抜かしたり間違えており、実施後に指導を受けた
	ウ	1人で実施しているが、手順を抜かしたり間違えており、その場で指導を受けた
	エ	1人での実施を任せられない
	-	該当なし

受講者名	
本票ページ数	/

回数 ※()内に実地研修の実施回数を記入すること。	()回目	()回目	()回目	()回目	()回目	()回目
月日 ※実地研修を実施した月日を記入すること。	10/11	/	/	/	/	/
時間 ※実地研修を実施した時刻を記入すること。	13:15					

実施手順	評価項目	評価結果	評価結果					
準備	1 医師の指示等の確認を行う	ア						
	2 手洗いを行う	ア						
	3 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する	ア						
	4 必要物品を利用者のもとに運ぶ	ア						
実施	5 利用者に吸引の説明をする	ア						
	6 吸引の環境・利用者の姿勢を整える	ア						
	7 気管カニューレ周囲や固定の状態を観察する	ア						
	8 手袋の着用またはセッシンを持つ	ア						
	吸引の実施	9 吸引チューブを清潔に取り出す	ア					
		10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する	ア					
		11 (浸漬法の場合) 吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く	ア					
		12 吸引器の電源を入れて水を吸い原則として滅菌精製水を吸い決められた吸引圧になることを確認する	ア					
		13 吸引チューブの先端の水をよく切る	ア					
		14 利用者に吸引開始について声をかけを行う	ア					
		15 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する	ア					
		16 適切な吸引時間で気管カニューレ内の分泌物等の貯留物を吸引する	ア					
		17 吸引チューブを静かに抜く	ア					
		18 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く	ア					
		19 滅菌精製水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす	ア					
		20 (セッシンを持っている場合) セッシンを戻す	ア					
		21 吸引器の電源を切る	ア					
		22 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す、または単回使用の場合は原則として破棄する	ア					
		23 手袋をはずす(手袋を使用している場合)	ア					
		24 利用者に吸引終了の声をかけを行い、姿勢を整える	ア					
		25 吸引物及び利用者の状態を観察する	イ					
	26 利用者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する	ア						
	27 手洗いをする	ア						
	報告	28 吸引物及び利用者の状態を報告する	イ					
29 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする(該当する場合のみ)		-						
片付け	30 吸引びんの排水量が70%~80%になる前に排水を捨てる	ア						
	31 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する	ア						
記録	32 ケア実施の証明および今後のケアプランに活用できるように記録しておく	ア						
アの個数 計		29						
指導看護師のサインまたは捺印								

★★各行為の修了認定基準 = 累積成功率70%以上、かつ最終3回のケアの実施において不成功が1回もない(連続3回成功)こと

自由記載欄	
()回目	
()回目	
()回目	
()回目	
()回目	